

会議結果（書面会議）のお知らせ

会議の名称	第3回朝霞市廃棄物減量等推進審議会										
開催日時	令和4年2月17日（木）										
開催場所	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面による開催とする。										
出席者	委員10人（松波会長、関口副会長、野平委員、遠藤委員、大川委員、大村委員、高橋委員、野平委員、松下委員、柳下委員） 事務局5人（渋谷資源リサイクル課長、木田主幹兼課長補佐、川合施設管理係長、早川リサイクルプラザ所長、高橋資源リサイクル係長）										
議題	（1）令和4年度朝霞市一般廃棄物処理実施計画（案）について （2）朝霞市・和光市ごみ処理広域化について （3）その他										
公開・非公開		傍聴者									
<p>【審議概要】</p> <p>1 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題(1) 令和4年度朝霞市一般廃棄物処理実施計画（案）について説明し、意見を伺った。 ・議題(2) 朝霞市・和光市ごみ処理広域化について説明し、意見を伺った。 ・議題(3) その他について説明し、意見を伺った。 <p>2 審議方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催に代えて、書面による書面会議を実施。（令和4年2月1日通知） ・朝霞市廃棄物減量等推進審議会委員に対し、書面により審議事項を通知し、回答を依頼。 <p>3 審議結果</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">可</td> <td style="width: 50%;">否</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>4 提出意見と事務局回答</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">提出意見（要旨）</td> <td style="width: 50%;">事務局回答</td> </tr> <tr> <td>別紙のとおり</td> <td>別紙のとおり</td> </tr> </table> <p>5 その他</p>				可	否	○		提出意見（要旨）	事務局回答	別紙のとおり	別紙のとおり
可	否										
○											
提出意見（要旨）	事務局回答										
別紙のとおり	別紙のとおり										
問合せ先（事務局）	朝霞市市民環境部資源リサイクル課資源リサイクル係 担当者 高橋、中原 電話番号 048-456-1593 eメール sigen_risaikuru@city.asaka.lg.jp										

議題（１）令和４年度朝霞市一般廃棄物処理実施計画（案）について 委員意見・説明

委員からの意見・質問		事務局からの説明
資料１ P.2 表 2-1-5 焼却灰の再資源化 【高橋委員】	<p>関心の高い取組です。セメント原料化は需要に限度があると思われませんが、人工砂化砕石資源化はもう少し増やせないでしょうか。努力した結果の数値とも思われませんが。</p>	<p>焼却灰の再資源化は、不測の事態により灰の受入が止まっても焼却処理が継続できるよう、複数の会社に委託するようしており、各社の受入可能な量に応じて、可能な範囲で再資源化を行っております。しかし、灰の全量を再資源化することは、受入先の事情や予算の制約などから難しい状況です。</p> <p>今後も限りある資源を有効に活用するため、積極的に再資源化を行ってまいります。</p>
資料１ P.8 排出抑制計画 （１）排出抑制計画（リデュース・リユース） 【野平委員】	<p>「令和元年度に市民一人あたりの排出量も増加に転じ、令和２年度は・・・」とあり、コロナ禍の前から増加の傾向が見られています。</p> <p>特に増加したごみの分別区分等があれば教えてください。コロナ収束後もそうした傾向が見られる可能性があれば、その点を踏まえた施策の検討も必要かと思えます。</p>	<p>令和元年度は、平成３０年度に比べて、すべてのごみ区分で排出量が増加しています。また、新型コロナウイルスの感染拡大により、可燃ごみ、不燃・粗大ごみなどに増加傾向がみられました。</p> <p>現在のところ、感染状況によって増減を繰り返しておりますが、全体的には落ち着きつつあります。</p> <p>このような中で、ごみの総排出量を減らしていくため、まずは分別を徹底して、再資源化を図っていくことが重要であると考えております。このため、分別キャンペーンを実施するなどの施策を計画しております。</p> <p>また、不燃・粗大ごみについては、いわゆる製品プラスチックの再資源化の動きを見据え、具体的な施策について検討していきたいと考えております。</p>

<p>資料 1 P.8 表 2-2-1 (イ) 市民への意識啓発 【柳下委員】</p>	<p>今後、市内中学校や高校への啓発は検討されないのでしょうか？ 充電機のはずせないイヤホンやスマートフォンのような製品は、不燃ごみと混ざって出されていることもあるのではないかと思います。講座の実施や見学会への参加は難しいと思いますが、彼らの身近な物に特化した物の分別パンフレットの作成・配布、美化委員会での勉強会実施、充電機のはずせない物の回収箱設置等、彼らが小学生時代、クリーンセンター見学や講座で学んだ廃棄物への意識を継続させるために中高生の啓発も大切かと思えます。</p>	<p>ご指摘のような、充電して使う製品は、「有害ごみ」として、袋に入れて、他の不燃ごみとは分けて出していただくようお願いしております。近年、これらの製品が原因と思われる火災が、他のごみ処理施設等で多く発生していることから、対策の徹底が求められているものと認識しております。 ご提案いただいたような、中学生・高校生への啓発活動は、これらの製品を使い始める時期と重なっていることから、有効なものと考えられます。一方で、その実施には費用も必要となることから、今後、具体的な実施方法について検討していきたいと考えております。</p>
<p>資料 1 P10 (2)再資源化計画（リサイクル）重点施策 (イ) 集団資源回収の促進 【松下委員】</p>	<p>令和 3 年度は 100 世帯以上の集合住宅に啓発実施なされたとのことですが、どのような反応がありましたか。</p>	<p>令和 3 年度は、100 世帯以上の集合住宅で、現在団体として登録されていない 11 か所へ職員が直接伺い、制度の周知を行いました。現在のところ、新たな登録にはつながっておりませんが、引き続き制度の周知に努めてまいります。</p>
<p>資料 1 P.11 表 2-2-3 再資源化計画 (ア) 分別排出の徹底 【野平委員】</p>	<p>一部の自治体では「ごみの分別アプリ」を作成しています。 自治体の導入状況や住民の利用率、課題等を調査して検討していただければと思います。</p>	<p>ごみ分別アプリは、公式なものだけで、県内 63 市町村のうち 24 市 7 町の合計 31 団体が導入しております。これまでも、アプリの導入を何度か検討してきた経緯がありますが、初年度約 100 万円、翌年度以降毎年 50 万円程度の継続的な費用が必要であることから、実現には至っておりません。 安価で同等の効果が得られる手法について種々検討を重ねており、その一つとして、市ホームページのごみ分別辞典を改良し、検索部分にごみの種類を入力すると、容易に該当するページへ移動できるようにしました。 今後も、効果的な情報伝達の方法について検討してまいります。</p>

<p>資料 3 P12 (ウ)安全管理の徹底 重点施策 【大川委員】</p>	<p>「リチウムイオン電池」を追記願います。</p>	<p>追記しました。</p>
<p>資料 1 P12 表 2-2-5 (3)収集・運搬計画 【松下委員】</p>	<p>高齢者・障がいのある方への個別訪問収集制度の近年の件数をご教示いただきたく存じます。 高齢化が進む中で、件数増加に対応していくことは可能ですか。</p>	<p>家庭ごみ訪問収集は、可燃ごみ収集運搬の業務の一環として実施しております。実施件数は、平成30年度末が119世帯、令和元年度末が118世帯、令和2年度末が137世帯、令和4年2月現在で166世帯となっております。 ご指摘のように、件数が増加していきますと、現在の形態での対応が難しくなる可能性があるものと考えられます。しかし、身体の不自由な方にとって訪問収集は必要な制度ですので、今後さらに件数が増加した場合には、収集運搬体制の見直しなどにより、制度を維持していきたいと考えております。</p>
<p>資料 1 P12 (ウ)安全管理の徹底 重点施策 【松下委員】</p>	<p>宇都宮でごみ焼却施設の火災が発生。処理能力7割のニュースがありました。他人事とは思えません。 有害ごみについては、排出方法の啓発だけでなく、もう一步踏みこんだわかりやすい方法にしていった方がいいのではと思います。何か検討していらっしゃいますか。</p>	<p>報道等によりますと、去る2月1日、宇都宮市のクリーンパーク茂原のごみ焼却施設ごみピット内で火災が発生し、焼却施設が使用不能となっているとのことです。 原因については不明とされていますが、可燃ごみの中にスプレー缶や充電電池などが含まれていたのではないかとのことです。 有害ごみの排出方法について周知を徹底するため、令和2年度から新たに分別キャンペーン月間を設けて、「袋に入れて黄色かごの横へ」出していただくようお願いしております。近隣市のような、別の排出かご等を準備する方法なども検討しましたが、充電して使う機器が次第に大型化していることなども踏まえ、透明袋に入れていただく方式を選択しております。 今後も様々な広報媒体を活用しながら、適正な分別の啓発に努めてまいります。</p>

<p>資料 1 P.13 表 2-2-5 (ウ) 安全管理の徹底 重点施策 【大村委員】</p>	<p>「スプレー缶や電池類などの・・・啓発」の文章ですが、「スプレー缶や電池類、パソコンやスマートフォン、携帯電話等に伴うモバイルバッテリー（リチウムイオン）などの・・・啓発」にしてみてもいかがでしょうか？</p>	<p>修正しました。</p>
<p>資料 1 P.14 表 2-2-7 最終処分計画 ①最終処分場の確保 【野平委員】</p>	<p>最終処分を委託していることに関する情報の周知とあります。周知により期待できる効果に関しても記載をお願いします。</p>	<p>期待される効果について追記しました。</p>
<p>資料 3 1 ページ 「市内大学」とは？の質問回答について 【松下委員】</p>	<p>この質問をさせていただいた意図は、東洋大学が 2021 年 4 月に朝霞キャンパスから赤羽キャンパスに移転したので、書いたわけですが、2021 年度も朝霞キャンパスの事務所に置いていただいているとはどういう意味でしょうか。</p>	<p>部活動などで引き続き朝霞キャンパスが利用されていることや、令和 6 年度から本格的な利用が再開されることなどを踏まえ、事務室にパンフレットの配置を依頼しました。</p>
<p>資料 3 1 ページ フードドライブについて 【松下委員】</p>	<p>リサイクルプラザで行っている賞味期限間近の食品受け入れ事業は、フードドライブに該当しませんか。（食品を子ども食堂に配布している） 市の他部署ではないはずですが、いかがでしょうか。</p>	<p>フードドライブは、令和 2 年度に他の部署が実施主体となって実施した経緯があります。 リサイクルプラザにおける食品ロス削減事業は、お預かりした食品をフードバンク等の団体を通さず、直接子ども食堂にお渡ししていることから、本来の意味のフードドライブに比べて、限定的な取組であると捉えております。</p>

議題（２）朝霞市・和光市ごみ処理広域化について 委員意見・説明

委員からの意見・質問		事務局からの説明
【野平委員】	広域化に伴うリサイクルプラザの内容見直し等あれば教えてください。	「ごみ処理広域化基本構想」では、朝霞和光資源循環組合の新施設に環境教育や環境学習、これらに関する情報発信の拠点整備を行うことが想定されており、現在、施設建設検討委員会においてその詳細が検討されております。 この検討結果を踏まえて、リサイクルプラザ、リサイクルショップのこれからの運営形態や在り方などにつきまして、今後検討してまいります。
P.6 資料2 余熱利用について 【高橋委員】	重要な取り組みと考えます。CO ₂ 削減にもなると思います。特に電力は売電効果と災害時地域への送電も考えられます。	御意見賜りました。
【松下委員】	次回の審議会でご説明いただけるとありがたいです。 (組合議会議事録等で確認するようにしますが、文面のみは限界があるように思います)	御意見賜りました。

議題（３）その他 について 委員意見・説明

委員からの意見・質問		事務局からの説明
【野平委員】	今回のケースと同様にコロナウイルス対策を踏まえた開催としていただければと思います。	御意見賜りました。
【松下委員】	コロナの感染拡大による書面での審議会となりましたが、今後はオンラインでの実施（ハイブリット含む）の検討をよろしくお願いいたします。書面では限界があります。	来年度は、一般廃棄物処理基本計画策定の検討も開始されるため、コロナ対策を実施しつつ、より効果的に委員の皆様の意見を伺うことのできる方法を検討してまいります。